

みずほCustomer Desk Report 2021/07/15 号(As of 2021/07/14)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	110.63
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.59	1.1774	130.22	1.3805	0.7439
SYD-NY High	110.70	1.1839	130.43	1.3890	0.7485
SYD-NY Low	109.94	1.1772	130.03	1.3802	0.7432
NY 5:00 PM	109.94	1.1837	130.15	1.3866	0.7482

NY DOW	34,933.23	44.44	日本2年債	-0.1300	▲1.00bp
NASDAQ	14,644.95	▲ 32.70	日本10年債	0.0100	▲1.00bp
S&P	4,374.30	5.09	米国2年債	0.2240	▲2.98bp
日経平均	28,608.49	▲ 109.75	米国5年債	0.7937	▲5.07bp
TOPIX	1,963.16	▲ 4.48	米国10年債	1.3484	▲6.91bp
シゴ日経先物	28,535.00	▲ 35.00	独10年債	-0.3135	▲1.30bp
ロンドンFT	7,091.19	▲ 33.53	英10年債	0.6280	▲0.30bp
DAX	15,788.98	▲ 0.66	豪10年債	1.3510	1.50bp
ハンセン指数	27,787.46	▲ 175.95	USDJPY 1M Vol	5.20	0.00%
上海総合	3,528.50	▲ 38.02	USDJPY 3M Vol	5.55	0.05%
NY金	1,825.00	15.10	USDJPY 6M Vol	5.75	▲0.08%
WTI	73.13	▲ 2.12	USDJPY 1M 25RR	-0.25	Yen Call Over
GRB指数	213.379	▲0.74	EURJPY 3M Vol	5.55	0.00%
ドルインデックス	92.41	▲ 0.34	EURJPY 6M Vol	5.83	0.04%

東京	東京時間のドル円は110.59レベルでオープン。昨日からの流れを引き継ぎ一時110.70まで上昇したドル円であるが、その後は米長期金利の低下を受けて110.45まで下落し、結局110.48レベルで海外時間に渡った。本日はニュージーランド準備銀行が量的緩和を23日までに終了すると発表しNZドルが上昇したが、ドル円相場への影響は限定的であった。
ロンドン	ドル円は110.48レベルでオープン。材料難の中、終始110円台半ばでのみ合いが続き、11銭以内の小幅推移となった。110.45レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3839レベルでオープン。6月英消費者物価指数、前年比+2.5%との結果が好感され上昇。1.3859レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	パウエル議長の下院金融委員会での議会証言を控え、海外市場のドル円は狭いレンジでの推移が続き、110.45でNYオープン。朝方はハ派な事前原稿を期待してドル売りが先行し、ドル円は上値を切り下げる。8時半に発表された米6月PPPI(前月比)ヘッドラインは1.0%と予想0.6%を上回り、昨日のCPI同様強い結果となったものの、同時に発表されたパウエル議長の議会証言の原稿内容で、「実質的な更なる進展の基準に達するには遠く離れている」「労働市場はまだ長い道のりがある」「インフレは一時的」など、予想よりもハ派は内容が散見され、ドル売りが更に強まったことから109.97まで下落する。正午から開始された議会証言では特に驚くような発言は見られなかったが慎重な姿勢だったことや、2時に発表されたベージュブックでも堅調な成長が見られ、需要の見通しは更に改善したことが明らかにになった一方、供給制約の緩和に対する不確実性などが指摘され、ドル円は軟調な推移が続き109.94まで下落し、109.94レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルも狭いレンジでの推移が続き、1.1803レベルでNYオープン。朝方は前述の事前原稿内容を受けたドル売りが持ち込まれ、ユーロドルは1.1828まで戻す。午後はパウエル議長の議会証言での慎重な姿勢や、ベージュブック内容を受け更にドル売りが強まり、1.1839まで戻し、1.1837レベルでクロスした。

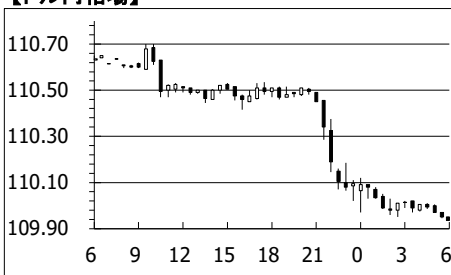
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月14日	13:30	日 鉱工業生産(前月比・前年比)・確報	5月 -6.5%/21.1%	-
	15:00	英 CPI(前月比・前年比)	6月 0.5%/2.5%	0.2%/2.2%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済・前月比)	5月 -1.0%	-0.3%
	21:30	米 PPI(前月比・前年比)	6月 1%/7.3%	0.6%/6.7%
7月15日	01:00	米 バウエルFRB議長 講演	「労働市場はまだ長い道のりがある」「インフレは一時的」	
	03:00	米 ベーシュバック	「5月から7月にかけて力強い成長」	

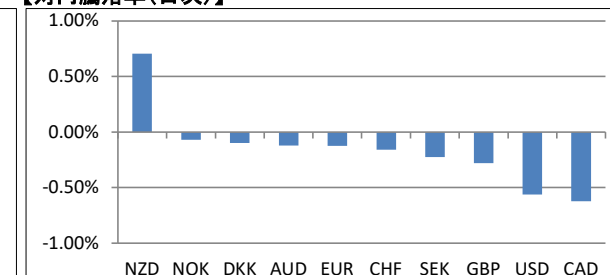
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
7月15日	10:30	豪 雇用者数変化	6月	20.0k	115.2k
	10:30	豪 失業率	6月	5.1%	5.1%
	11:00	中 GDP(前年比)	2Q	8.0%	18.3%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	6月	10.8%	12.4%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	6月	7.9%	8.8%
	19:00	英 サンダースBOE委員 講演	-	-	-
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	7月	18	17.4
	21:30	米 フィアテルフィア連銀景況	7月	28	30.7
	21:30	米 新規失業保険申請件数	10-Jul	350k	373k
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	6月	0.6%	0.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.60-110.60	1.1780-1.1880	129.70-130.70

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落する展開。東京時間は、パウエル議長の下院金融委員会での議会証言を控え小動き。海外時間に入り、議会証言の原稿内容がハト派寄りであったことを要因にドル円は下落する展開となり一時109.94をつけ、同水準で推移した。

本日のドル円は底堅い展開を予想。注目のパウエル議長の議会証言はハト派寄りの内容となったものの、先日のCPIからも米経済回復期待は高まっている。本日もイベントを多く控える中、上下するも基本的には底堅い展開を想定している。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前経路なしに変更される可能性があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ブル	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ペア
ブル	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ペア		12	9